



平成26年11月19日

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
(コード 3787: マザーズ)
住 所 東京都品川区西五反田二丁目12番19号
代 表 者 代表取締役社長 田 中 正 文
問 合 先 担当者 経営企画部 中 山
電 話 番 号 03-3492-3633

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 平成26年11月19日 15:00～16:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京証券会館

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

説明会資料名 平成27年3月期＜第15期＞第2四半期決算説明会

【添付資料】

1. 投資に関する説明会において使用した資料

株式会社テクノマセマティカル

平成27年3月期＜第15期＞ 第2四半期決算説明会 資 料



平成26年11月19日

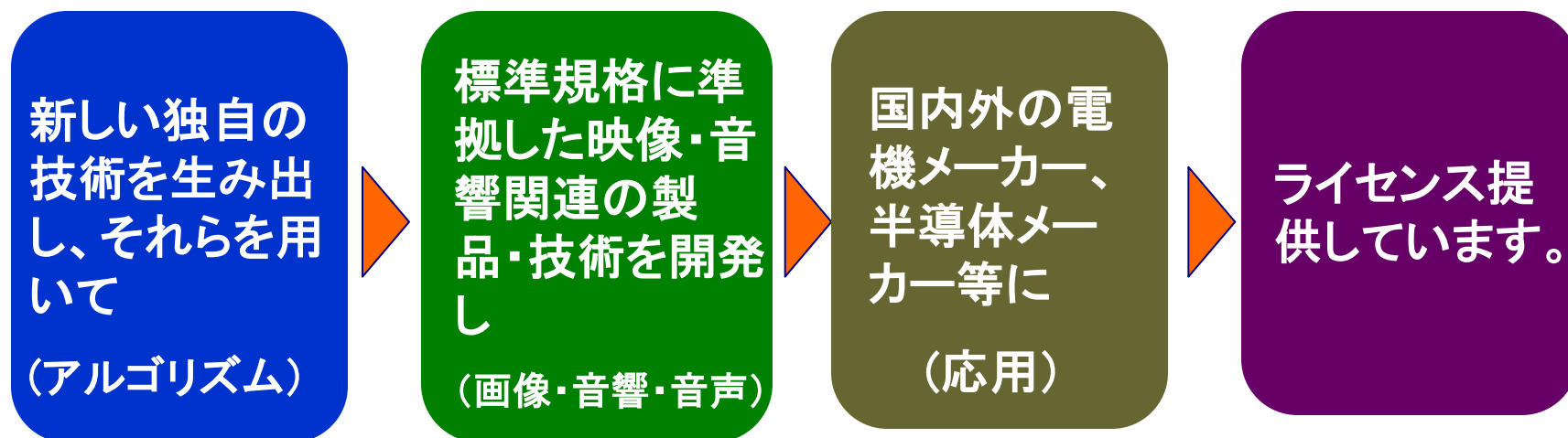
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. 平成27年3月期の課題と進捗
6. 当社技術のご紹介

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について

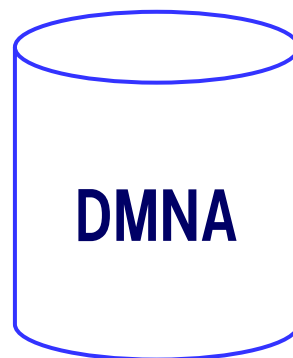


①高圧縮率、②高画質、③低消費電力量、④低遅延
を実現するデータ圧縮・伸張技術を開発、提供し続けます。

1-2 DMNAとは

<数学> 処理量削減

$$\left. \begin{array}{l} \text{Log } (f(x) + g(x)) \\ \sin f(x) \quad \frac{d}{dx} g(x) \\ \cos g(x) \\ \tan h(x) \\ z^{-1} \\ \int_a^b f(x) dx \\ \Sigma f(x) + g(x) \end{array} \right\}$$



簡単な数式に置換



+、-

<信号処理>

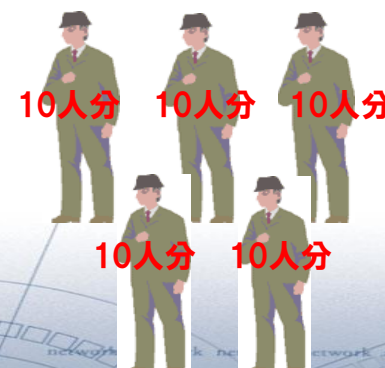
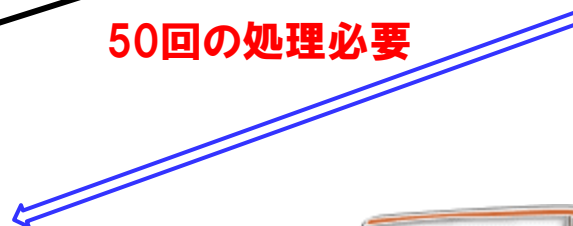
高速処理

消費エネルギー削減



1人分

50回の処理必要



10人分

10人分

10人分

10人分

10人分

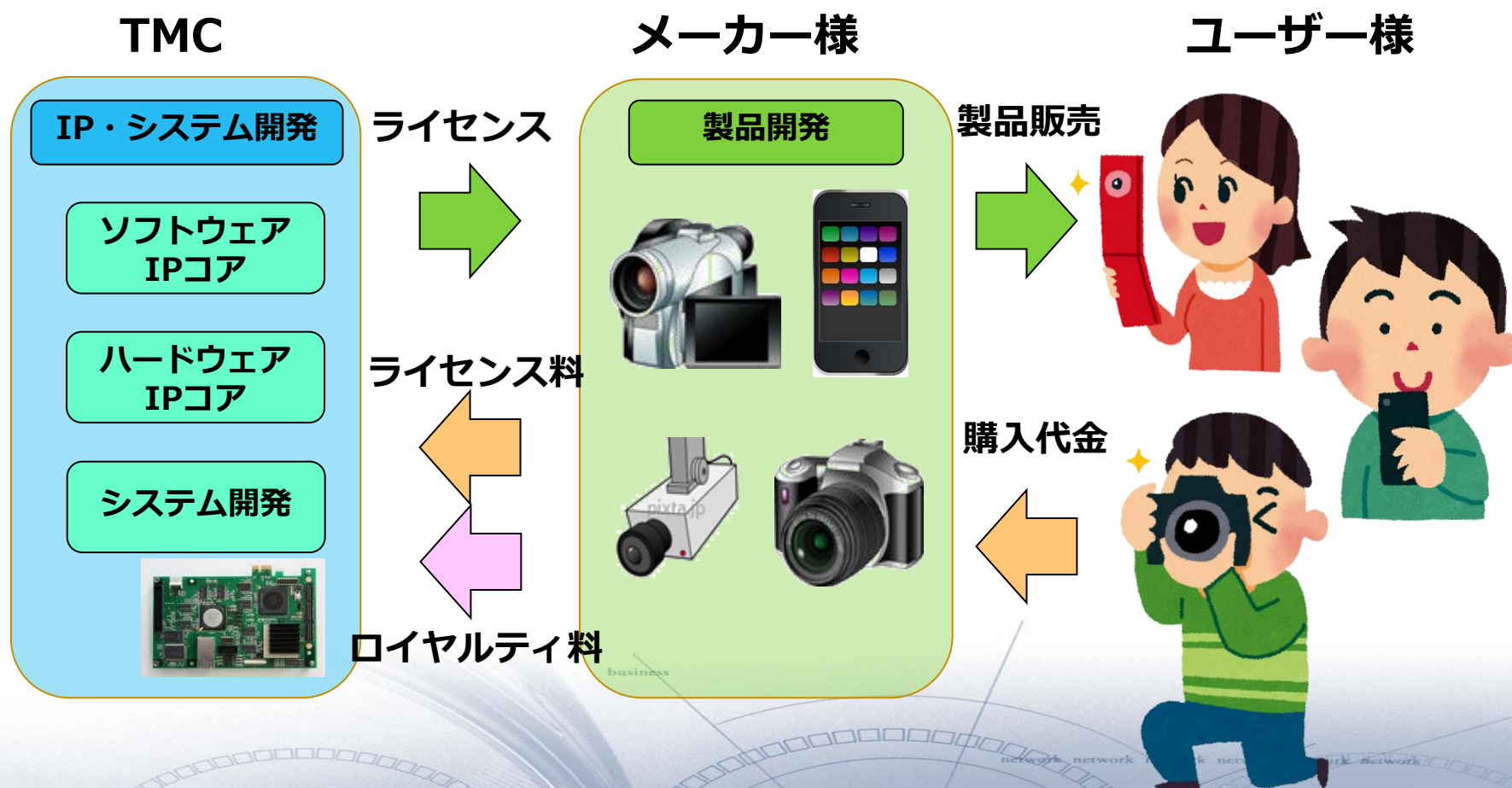
50人
輸送

一回で全演算を実行する



1-3 ビジネスモデル

テクノマセマティカルは独自のコンピュータアルゴリズム DMNAを用いて
高品質・低消費電力のIP・システムを開発し
国内外のメーカー様にライセンス提供しております。



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像/音響製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存/新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 業績の推移

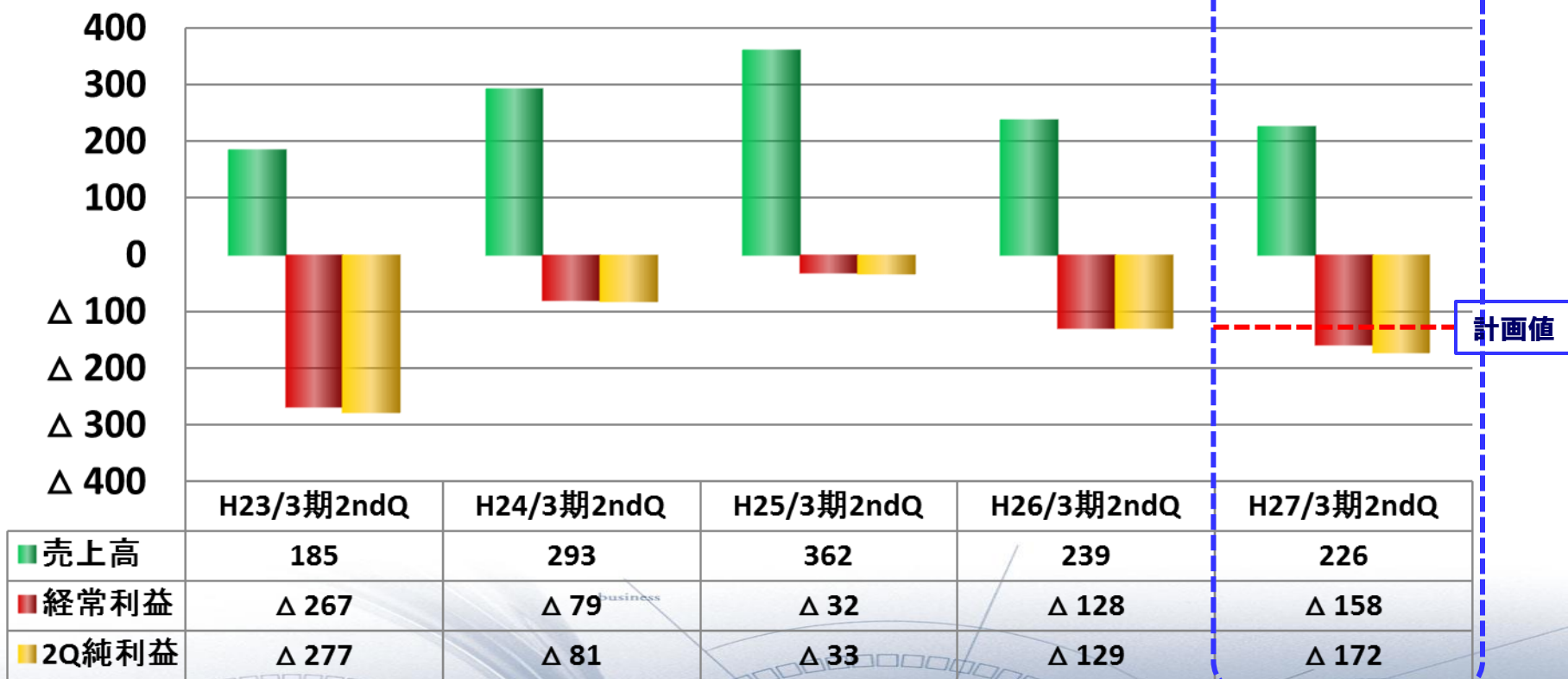
◆ 売上高 計画比56百万円未達

HW獲得見込み案件の失注が主な要因

◆ 損益面 計画値より大幅悪化

経費圧縮進めるも売上未達をカバーしきれず特別損失も影響

(百万円)



2-2 損益計算書

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(単位：百万円)	当第2四半期（累計） (H27/3期2ndQ)	構成比	対前年同期間 増減比	前年同期間 (H26/3期2ndQ)
売上高	226	100.0%	△ 5.1%	239
売上総利益	156	69.1%	△ 30.8%	227
販売管理費	320	141.1%	△ 10.3%	357
営業利益	△ 163	△ 72.0%	—	△ 130
経常利益	△ 158	△ 69.7%	—	△ 128
四半期純利益	△ 172	△ 76.0%	—	△ 129

2-3 貸借対照表

(平成26年9月30日)

(単位:百万円)	H26/9末	構成比	対前期末比 増減	H26/3末
流動資産	2,838	96.4%	298	2,539
固定資産	104	3.5%	△ 472	577
資産合計	2,943	100.0%	△173	3,117
流動負債	97	3.3%	△ 2	100
固定負債	—	—	—	—
純 資 産	2,845	96.6%	△171	3,016

2-4 当初業績予想との差異について

(単位:百万円)	期初予想	実績	差異額	達成率
売上高	283	226	△ 56	80.2%
経常利益	△ 111	△ 158	△ 47	—
四半期純利益	△ 117	△ 172	△ 55	—

プラス面

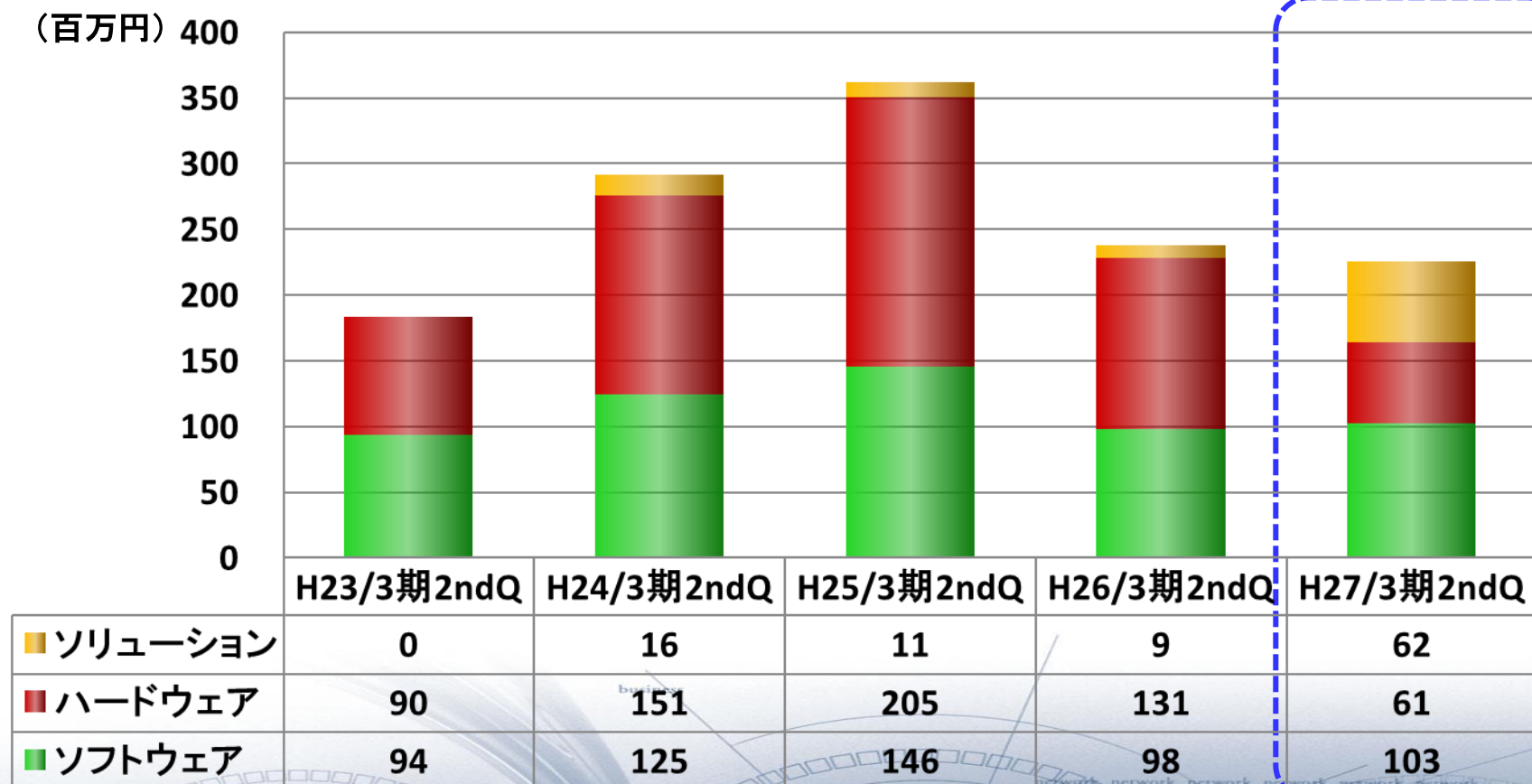
- ◆車載向けSW案件が健闘(メディアプレーヤー、Dolby Digital AC3)。
- ◆スマートフォン向けにニア・ロスレス技術が採用された。
- ◆新しい国際標準規格H.265/HEVCの下期案件獲得へ向け商談が進みつつある。

マイナス面

- ◆上期期待していたHW案件(国内外)を失注。
- ◆大型のソリューション案件の発掘が停滞している。
- ◆既存IPのFPGA化ビジネスがほとんど進展していない。

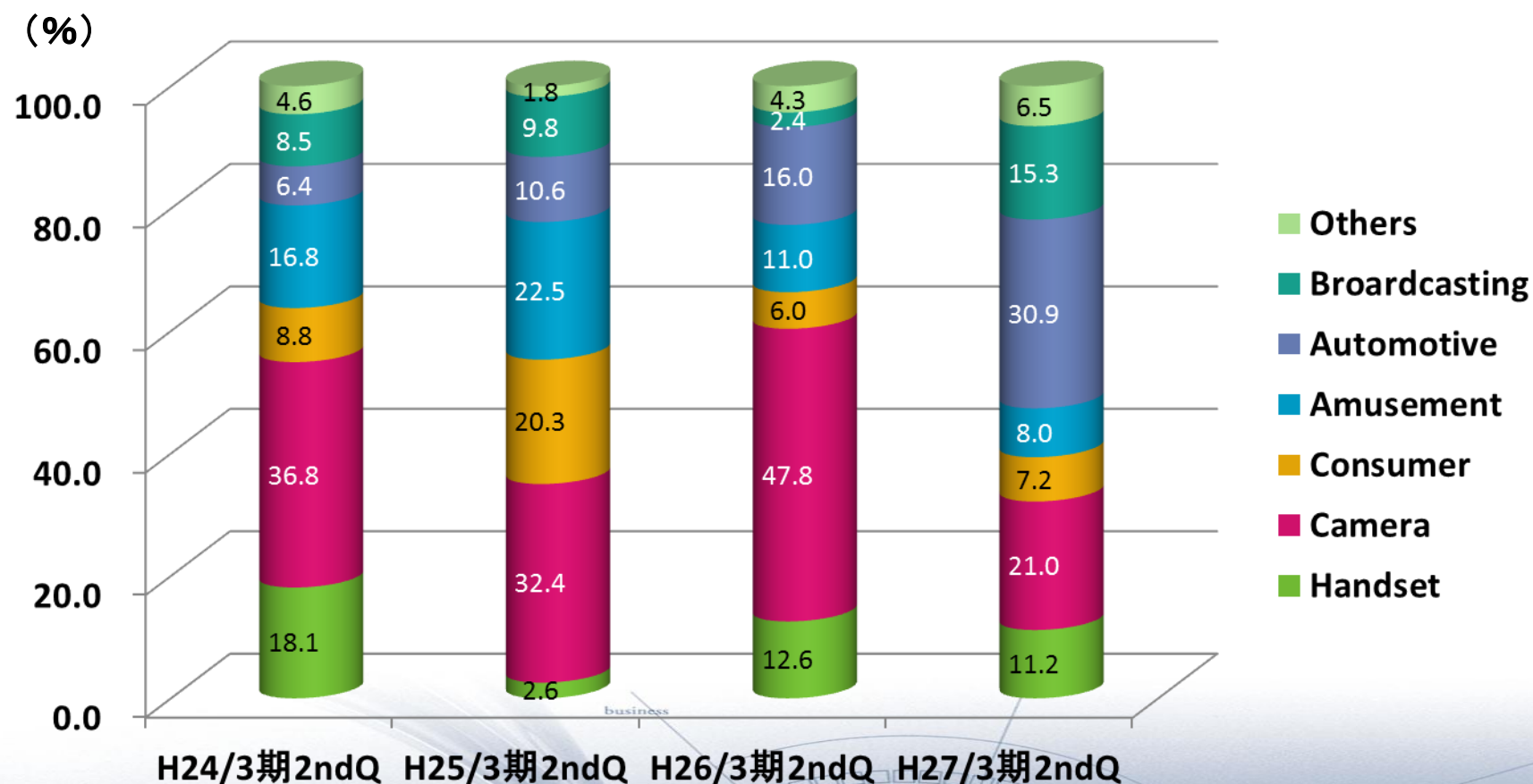
3-1 売上の内訳(事業区分別)

- ◆ソフトウェアは前年同期間比5%増・・・車載向けメディアプレーヤー中心に堅調
- ◆ハードウェアは前年同期間比53%減・・・獲得案件数減少とデジカメ関連ロイヤルティが不振
- ◆ソリューションは前年同期間比6倍増・・・車載向けメディアプレーヤーやHEVC評価キット開発



3-2 売上の内訳(対象市場別)

- ◆車載向けと放送関連のウェイト拡大(メディアプレーヤー、HEVC評価キット)。
- ◆デジカメ、アミューズメント向けのウェイト減少(新規案件&ロイヤルティ減少)。



4-1 H27/3期 通期業績見通し

(単位:百万円)

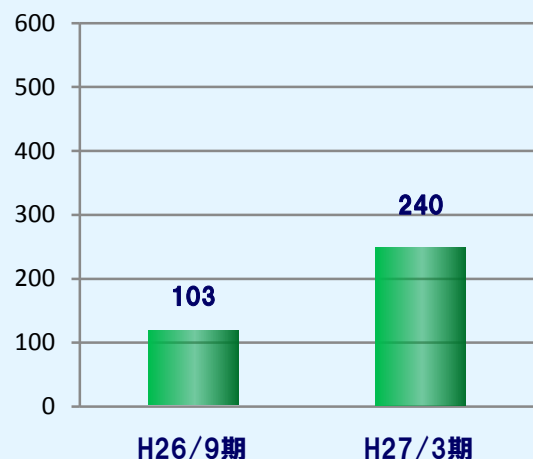
	通期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	670	124	22.7%	546
経常利益	△87	105	—	△192
当期純利益	△103	92	—	△195

- ◆ 上期実績と下期見込案件精査の結果、通期予想を見直し
- ◆ ソフトウェアライセンス＝車載向け画像・音響関連など見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝ロスレス、H.264/H.265など見込む
- ◆ ソリューション＝H.265/HEVC評価関連、小型版低遅延伝送装置他の案件獲得見込む

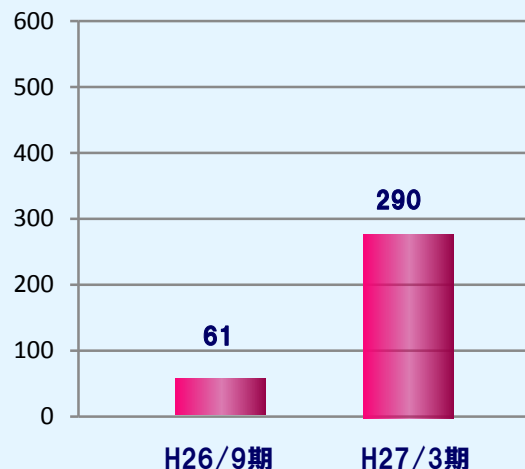
4-2 主な増減要因

＜売上高＞（単位：百万円、H27/3期は計画値）

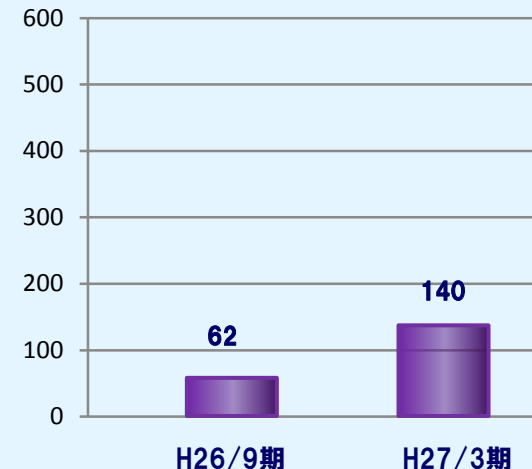
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション事業



- ・ **ワンセグ、フルセグ**関連でH.264、AACなど底堅い需要を見込む
- ・ **ゲーム**関連、**車載**関連、**スマートフォン**関連もターゲットに

- ・ **デジカメ**向け、**放送機器**向けなどを中心に4K/8K、H.264HD、H.265に注力
- ・ **海外案件**はロスレス中心
- ・ 高速JPEGで**置き換え需要**を掘り起こす

- ・ **小型版低遅延伝送装置**を拡販
- ・ HEVC/8K関連開発の継続受注を見込む
- ・ TM5184MJCを使った4K伝送装置を投入

5 平成27年3月期における課題と進捗

1. ソリューションビジネス立ち上げの技術課題
 - a. デバイスチップの基本技術開発
 - b. アプリケーションソフトウェア技術の確立
 - c. システム基本構成の開発

⇒ メディアプレーヤー開発(b)、低遅延伝送装置開発(c)
2. 海外ビジネスの基盤強化と案件数拡大

⇒ 代理店活用と海外客向け営業資料・デモ資材の充実
3. 全部門の意識改革による黒字体質の構築

⇒ 月次進捗会議(営業)、工数管理の徹底(開発)を通じ意識改革を実施
4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

⇒ 音声関連技術の車載レベルへの高性能化達成

6-1 当社技術のご紹介(一部)

HEVC/H.265

□ 背景

デジタルハイビジョン放送における
大画面・高画質要求

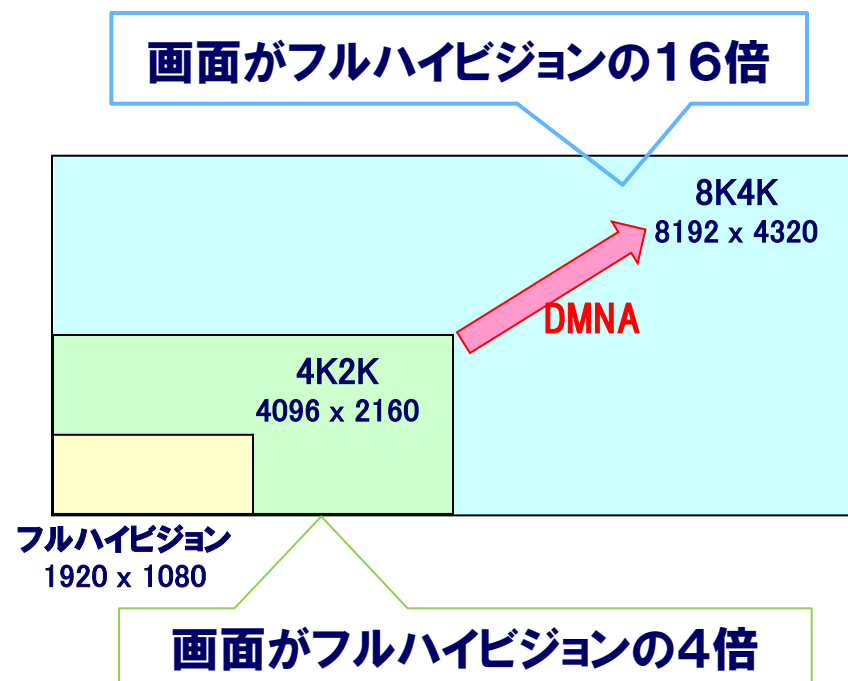
□ 最新の動画圧縮・伸張規格 「HEVC/H.265」

8K×4Kでは解決しなければならない技術
課題が数多くある。数学的手法を応用し
た**独自のコンピュータアルゴリズム**
「DMNA」で解決

高圧縮・高画質

大幅な回路規模削減、低消費電力化、低遅延化を実現

⇒ **ハイエンド/プロ用の8K/4K画像60fps リアルタイム
ソフトウェア/ハードウェア・デコーダの開発に成功済み**



6-2 当社技術のご紹介(一部)

次世代 オーディオ コーデック

☆Opus エンコーダ/デコーダ ソフトウェア

- ・Opus(オーパス)はIETF* RFC6716として規格化された次世代のオーディオコーデックです。
- ・高音質、低遅延、低ビットレート、完全固定ビットレートが主な特徴です。
- ・音声ガイダンス、電子辞書、ゲームBGM、インターホンなどのアプリケーションに最適です。

*IETF : Internet Engineering Task Force

ロスレスハイレゾ オーディオコーデック

☆FLAC エンコーダ/デコーダ ソフトウェア

- ・FLAC(フラック)はオープン規格の可逆圧縮オーディオコーデックです。
- ・無劣化、高速、ハイレゾリユーションオーディオのサポートが主な特徴です。
- ・CD品質およびハイレゾ品質オーディオの流通フォーマットとして広く採用が進んでいます。

6-3 当社技術のご紹介(一部)

DMNAを用いた圧縮伸張システム

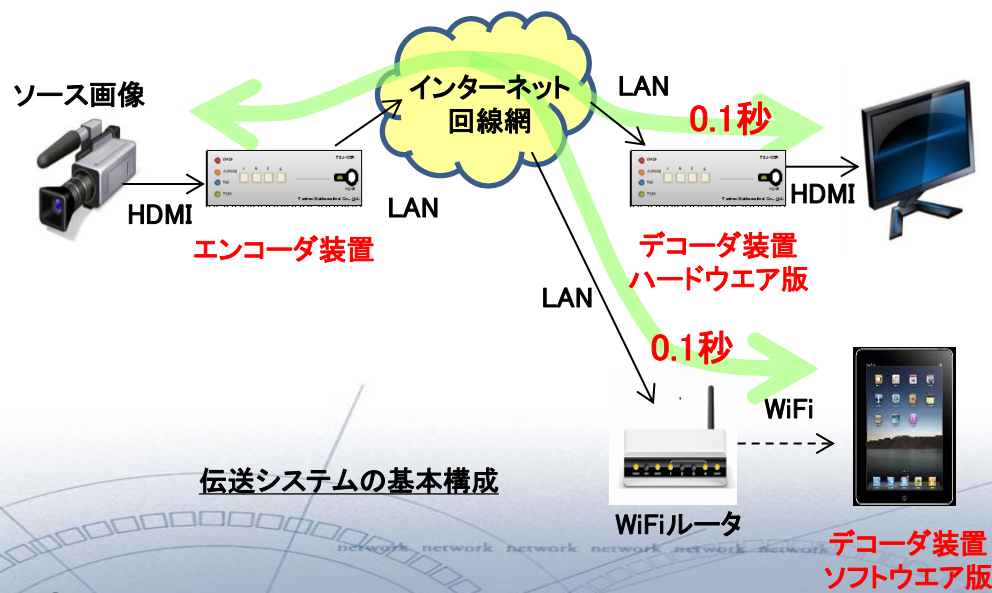
低遅延・小型 画像伝送装置

低遅延・小型画像伝送装置は、画サイズ・画質・遅延・伝送レート・コスト・消費電力・重量などの課題をすべて同時解決した、これまでの常識を一気に覆した伝送装置です。

- 装置間伝送遅延:フルHDの画像を**0.1秒の低遅延**で伝送
- DMNAにより**高画質、低消費電力**を実現
- 各装置の**重量は1.5kg**。カメラ・バッテリーを接続し、モバイル用途に最適

<活用例>

- ・監視カメラ等が設置されていない場所、現場からの緊急映像等をリアルタイムで共有し、本部・センターから指示を出す用途
- ・車両のカメラ映像・音声をリアルタイムにセンターで分析し、音声指示を出すような監視用途
- ・列車の運転席からのドア開閉モニター、駅構内モニター用途
- ・人が立ち入れないような現場に持ち込み(小型軽量・バッテリー駆動可)、リアルタイムかつ高画質が要求される中継・監視用途



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp